

巻頭言

学校長 吉山 耕一郎

新型コロナウイルスの影響で、今までとは違う学校生活です。マスクの着用、手洗い・うがいの励行、密集・密閉・密接の3密回避、ソーシャル・ディスタンスなど制約の多い不自由な学校生活となっています。このような中、例年になく短く感じる夏が終わり、9月5日に双松祭が行われます。感染症予防の観点から本年度は、文化祭と体育祭の2日間ではなく、文化祭を体育祭に組み込む形式とし1日間に短縮しました。生徒たちは3年生を中心に、制約がある中でも挑戦し、青春のエネルギーをぶつけて懸命に準備を行ってきました。今年も西高生が熱く燃え、密度が濃い双松祭となってほしいと考えています。

今年の双松祭のテーマは、「千変万化」～新たな挑戦～」です。

「千変万化（せんぺんばんか）」とは、「局面や状況などがさまざまに変化してきわまることがない」という意味です。Withコロナは新しい生活様式を生み出しました。まさに「千変万化」となっています。さまざまな変化のスピードが速く、新たな挑戦する気持ちがなければ、乗り切れない時代です。

この学校祭には、「人間関係をつくること」「社会や集団に参画すること」「自分の能力や適性を発揮すること」など様々な目的がありますが、新たに挑戦する（One Step One Up）気持ちを持つきっかけになることを期待しています。

例えば「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉があります。活動を通して誰一人見捨てないという気持ちを育ててほしいと思っています。更に活動の中で、自分にはこういう力があつたか、こういうことに興味があつたかという、新たな自分の発見ができる場面があれば良いと願っています。

最後になりましたが、保護者、地域、同窓生の皆様その他唐津西高校の教育活動を日ごろから支えていただいている皆様には、7月の準備開始から今日までのご支援及び感染予防の観点より双松祭への入場の制限について、ご理解とご協力を本当にありがとうございました。

「師弟同行（共育）」「朝（あした）に希望夕（ゆう）べに感謝」「明るい挨拶 気持ちの良い挨拶」の気持ちを持って「One Team Nishikou」を必ず実行し、双松祭を成功させてくれることでお礼の言葉に代えさせていただきます。